

ふれあい通信 平成26年7月号



発行：国保坂下病院広報委員会 TEL 0573-75-3118

ホームページアドレス <http://sakashita-hp.jp/>

「ふれあい通信」は坂下病院ホームページでも御覧いただけます

連載こくほ四方山話

病院長 高山 哲夫

(107 不正ねつ造研究)



ノーベル賞級と評価されたSTAP細胞の研究を巡って、残念な評価が報道されています。所属先の理学研究所の調査委員会は、データの不正ねつ造と判定しました。それに対し、当事者の女性からは、単なる取りまちがいであり、意図的な不正ねつ造ではないとの反論があるようです。こうした報道に関し、「理研は彼女一人を犠牲にして組織を守った」「単なる取りまちがいなのに」と彼女を擁護する意見も多数あることは驚きです。

大学で少しでも研究生生活を送った経験から言えば、自分の生活をかけた研究の成果をまとめる論文は、何度も何度も書き直すものです。ましてや、その論文の中心となるデータや写真を取り間違えるはずはありません。彼女は、自分の研究をそんなにいい加減に考え、取り扱っていたのでしょうか。

手元に「新薬に挑んだ日本人科学者たち」と云う一冊の本がありま

す。がん、アルツハイマー病、生活習慣病、関節リウマチ、エイズなど、今日皆さんが医療機関で処方されるいくつかの薬剤が、日本人科学者の努力によって創り出されているのです。その中には、ノーベル賞級の研究もいくつかあります。同じような研究でノーベル賞を受賞した外国人研究者が何人かいます。ただ、日本は英語圏でないため、英文を日常語として使う研究者に、発表の段階で遅れを取ってしまっただけなのです。

それはともかく、こうした研究は、それこそ血のにじむような努力の結果創りだされています。「もうだめだ、あきらめよう。」そんなぎりぎりの所まで追い詰められ、そこで花開いた研究もあります。そのような苦労の結果、得られたデータは膨大なものですが、そんな大切なものを取り違えることはまずありません

「人間の慢性膵炎の実験モデルを作りたい。」私の大学での研究生生活時代のことです。発生原因がわからず、治療法も確立していない慢性膵炎を巡って、膵炎の研究を

行っていた全国の大学が「実験的慢性膵炎の作成」に挑んでいました。実験動物にアルコールや薬を飲ませたり注射してみたり、いろいろな実験が試みられていました。しかし、どこかの大学の研究でも、なかなか人間の慢性膵炎に似たものはできませんでした。「今日の結果がだめだったら、この研究はもう止めよう。」指導して頂いた先生から言われて実験にとりかかったのは、56匹目のイヌでした。この時に、思ってもいない新しい発見があり、私の研究は続き、論文が出版されました。この時の実験ノート、写真は今も残っています。その写真の像も、はっきり頭に焼き付いて残っています。取りまちがえる筈はないのです。

また、後日のことですが、論文を英文誌に投稿した時に「私達が日本語の論文を書くより、貴方達日本人が英文の論文を書く方がやさしいはずだ。貴方の英文はあまりにも下手過ぎる。もつと上手な人に見てもらい、書き直して再提出しなさい。」と返事をもらったことがあります。そんな苦労をして英文の論文を書きました。



でも、誰かの文章をコピーしようなどとは夢にも思いませんでした。自分一人が書いた、堂々と胸を張れる研究論文です。

ゴーストライターに作らせた曲を自分が作曲したものと偽った作曲家、そして今回の事件…。

そういえば、少し前に、食品偽装事件が頻発しました。

いつから日本人の心は、こんなに貧しくなったのでしょうか。



医師のひとりごと

整形外科 草野大樹

「はじめまして！」

自己紹介させて頂きます！」

6月から赴任となりました整形外科の草野です。赴任となって数日、リハビリの先生に「早速ですが、ふれあい通信に何か書いてもらえませんか？」と言われ、少々困惑しておりますが、この場を借りて自己紹介させて頂きます。



出身は福岡県筑紫野市という所で、学問の神様として全国的にも有名な太宰府天満宮の近くです。幼少期から父親の影響もあり中日ドラゴンズのファンということもあり、大学から名古屋に来ました。大学入学後は、医学部に入ったというよりは、テニス部に入ったというくらい、鉛筆よりもテニスラケットを握り、1年間通して真っ黒に日焼けしつつテニスボールを追っかけまわしておりました（その甲斐あって、今でも硬式テニスは大好きな趣味として続けております）。大学卒業後は、部活の先輩の誘いもあり、名古屋市昭和区にある名古屋第二赤十字病院（通称八事日赤）に入社しました。2年間の研修医生活を経て、整形外科入局。二次救急まである急性期病院でしたので、毎日緊急手術の嵐の中、馬車馬のように働いておりました。



坂下病院に赴任して3週間経ちましたが、以前に比べると家族との時間も増え、多少

「なりともイクメン」

になれるよう努力しているところです。ここは自然豊かで空気も美味しく、周りの方々も良い人ばかりなので、子育てには本当に良い環境だと実感しております。ちなみに最近、ホタル祭りでホタルを堪能したり、中津川公園の長いローラー滑り台で遊んだりして、子供たちも大満足の様子でした。

病院ではまだまだ不慣れなことも多く皆様にはご迷惑をおかけしておりますが、今後ともよろしく
お願い致します。



「糖尿病教室」について

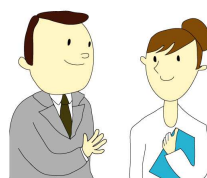
「坂下病院糖尿病教室」は、今までより良い方法を検討しながら継続してきました。教室で中心にしてきた内容は、食事療法と運動療法でした。しかし、これは糖尿病だけに限らず、高血圧、高脂血症などの疾患にも関係しています。「糖尿病教室」を糖尿病でない患者さんや、家族の方

にも参加していただける場所にしていきたいと考え、3年間続けてきた「糖尿病教室」を一旦終了することにしました。

今後は、以前から当院にはありました「ふれあい健康塾」と「糖尿病教室」を合わせて、再度スタートすることになりました。来年になってから活動をスタートする予定です。

これまで「坂下病院糖尿病教室」に参加して頂いた皆様、ありがとうございました。そして、これからは、新しく生まれ変わる

「ふれあい健康塾」を宜しく願いいたします。



「ギタ・マンコンサート」の

お知らせ

美しい音色に癒されてみませんか。

7月15日(火曜日)午後2時から、坂下病院エントランスホール(1階)にて、坂下高校ギターマンドリン部の皆さんによるコンサートを開催します。患者さん、ご家族の皆様、是非ご参加下さい。三十分間ほどの演奏会です。
(主催 看護部)

やさか健康福祉まつり

坂下病院実行委員長

原 文明

平成26年6月1日(日曜日)に、「第20回 やさか健康福祉祭り」が開催されました。

今年は天候に恵まれ、夏を思わせるような大変暑い日でしたが、催し物の参加者も含め、会場参加者は600名を数えました。

坂下病院は、健康コーナーとして、血圧測定、身体測定、骨密度測定、頸動脈エコー、体力測定、認知症チェック、医師相談を企画し、190名(坂下地区以外から41名)もの方々にご来場いただきました。



骨密度、頸動脈エコーは大変盛況で140名を越える方が測定を実施されました。



認知症チェックでは、若い方も気になるようで、87名の方がチェックを受けられ、正解の数聞いて安心されているようでした。



その他にも、坂下病院人形劇団の「もしかして認知症？」のDVDを上映しました。

また、院内感染対策委員会による「食中毒の予防」の講習会も行いました。

猛暑の中、ご来場くださいました
さいました
多くの方々、
スタッフの
皆様には、
ご協力を賜り、本当に
ありがとうございました。



連載 四季の画

坂下病院 花暦

今月の花：(ナツツバキ)

ナツツバキ(夏椿)は、ツバキ科ナツツバキ属の落葉高木。別名シヤラノキ(娑羅樹)。仏教の聖樹、フタバガキ科の娑羅樹(さらのき)に擬せられ、この名がついたと言われる。



樹高は10m程度になる。樹皮は帯紅色でツルツルしており、「サルスベリ」の別名もある。葉は楕円形で、長さ10cm程度。ツバキのように肉厚の光沢のある葉ではなく、秋には落葉する。
花期は6月から7月初旬である。花の大きさは直径5cm程度で、花びらは5枚で、白く雄しべの花糸が黄色い。朝に開花し、夕方には落花する一日花である。

季節の画を提供してくださる三浦貞夫さんは木曾郡南木曾町田立在住。現在もりハビリをしながら絵を描き続けており、その作品はリハビリ室前の廊下にも掲示しています。

職員募集！ 看護師・准看護師

坂下病院で勤務していただける方を募集しています。

看護力が、この地域の住民の皆様を支えます。

60歳未満の方、性別は問いません。

勤務時間など相談に応じます。ご連絡をお待ちしています。

* 坂下老人保健施設でも、看護師、准看護師、
介護職員の募集を行っています。

連絡先：0573-75-3118（内線210）

松本看護部長

吉村副看護部長



☆ お知らせ ☆

催し物	日時・場所	内容
糖尿病食試食会	7月8日(火) 7月22日(火) 午前11時～3階食堂	予約：坂下病院栄養科(内線164) お電話でおねがいします。 会費：310円(食材費)
糖尿病教室	「ふれあい健康塾」として 来年より開始予定です。	
ふれあい健康塾	「糖尿病教室」と合併し 来年より再開予定です。	

☆坂下病院各科診療表 診療状況により予約時間どおりには受診できない場合があります。予めご了承ください。
(平成26年7月現在) 予約変更などのお問合せは、平日午後2時以降に各科受付窓口へお願い致します。

診療科目	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
内科	第一(予約)	高山	酒井	高山(午前)	高山(午前)	酒井
	第二(予約)		近藤【呼吸器】	伊藤	高塚	田口【呼吸器】午後
	第三(予約)	信太(午前)	村瀬	信太		高塚(午前)
	新患外来	酒井	高塚	告野	信太	高山
	午前内科		大野【神経内】第3			佐橋【神経内】第1.3
	午後診療特殊			井上【漢方】第2.4 13:00～ 青木【腎臓】隔週		渡邊【腎臓】隔週
	午後診療	高塚	高塚	告野	酒井	信太
外科	第一	横井	保坂【血管外科】			成田(第2) 田畑(第4)
	第二	近藤	近藤	近藤	近藤	水野
整形	第一	小嶋【リウマチ】	草野	小澤	草野	草野
	第二	矢野	赤根	矢野	矢野	山下
小児科	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本	杉本
眼科	木下 受付11:00まで	木下	木下 受付11:00まで	木下	木下	木下
泌尿器科	渡邊			山田 第1.3.5 青木 第2.4	深津	
耳鼻咽喉科	小川	西村	清水	矢野原	稲川	
皮膚科			伊能 第1.3.5 松本 第2.4			
脳神経外科				大須賀 14:00～		
婦人科				浅井 第1.3	萬羽(午前)	